

平成30年度

「運営に関する計画」



大阪市立中央小学校

平成30年4月

学校教育目標

心身ともにたくましく 自らすすんで学ぶ 心豊かな子どもを育てる

めざす子どもの姿

○「考える子」⇒知育・・・学力の向上

自ら学び、自ら考え、粘り強く問題を解決しようとする子

- ・基礎的基本的な学力を身につけた子ども
- ・主体的に意欲をもって学ぶ子ども
- ・思考力、判断力、表現力を身につけた子ども
- ・よく考える子ども
- ・考えや意見等を比較し、正しい内容を選択できる子ども
- ・自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども

○「やさしい子」⇒徳育・・・心の教育の充実

互いのよさを認め合い、相手の立場や気持ちを大切に思いやりのある子

- ・命を大切にする子ども
- ・心豊かな子ども
- ・思いやりのあるやさしい子ども
- ・ちがいを認め合って、協力しあえる子ども
- ・道徳心や規範意識、社会性を身につけた子ども
- ・あいさつ (会釈も含む) が自分から進んでできる子ども
- ・自尊感情の高い子ども

○「がんばりぬく子」⇒体育・・・体力の向上

自らの健康や体力に関心を持ち、最後まであきらめずにがんばる子

- ・心も体も強い元気な子ども
- ・健康的な生活習慣 (手洗い、うがい等) を身につけた子ども
- ・基本的な生活習慣 (早寝、早起き、朝ごはん等) を身につけた子ども
- ・すすんで体力づくりに取り組む子ども
- ・好き嫌いなく、バランスのよい食事をとる子ども
- ・すすんで運動場で外遊びする子ども

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

大阪市立中央小学校は、平成3年に桃谷小学校・桃園小学校・東平小学校・金甌小学校という歴史と伝統に輝く4小学校が同時に統合されて生まれた。当時、4校同時統合というのは全国でも初めての出来事であった。地域の子どもたちが、校訓にも掲げられたように「清く 明るく たくましく」育ててほしいという当時の保護者や地域の方々の強い願いと教育に対する熱い思いがもとになって、中央教育がスタートした。創立以来、子どもを中心に据えた教育を学校・保護者・地域が連携して脈々と取り組んできている。中央教育の伝統を代々引き継いでいくことにより、学校・地域を愛し、我が学校・我が地域に誇りをもてる子どもを育ててほしいという願いが地域・保護者に強くある。

学習面では、全国学力・学習状況調査の結果においては、例年、平均正答率で全国平均を上回っている。しかし、体力面では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果において、各種目とも全国平均を下回ることが多く、都会の中心部に位置する校区で、運動する場や時間が不足している事が影響している。

また、校区内でタワーマンション等の建築がさかんで児童数が急増し、一昨年度は校舎を増築した。今後も児童数の増加は続き、1000人を超えるマンモス校化することは必至である。また、昨今特に多くの外国籍の子どもが転入してきて、日本語指導教室を新たに設置し、生活言語に加え、学習言語の指導の充実に努めている。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成29年度～32年度の年度末の校内いじめ実態調査アンケートにおいて、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度～32年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を毎年90%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童に対して、必要な対応をした割合を毎年100%にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 毎年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童に対して、必要な対応をした割合を毎年100%にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 毎年度末の学校生活アンケートにおける以下の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を向上させる。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
 - ・「自分から進んで気持ちよくあいさつできている」について毎年90%以上にする。
 - ・「困っている友だちがいれば、優しくしてあげることができている」について毎年90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 28 年度より向上させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より 2 ポイント減少させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より 2 ポイント増加させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、「している（どちらかといえばしている）」と答える児童の割合を、平成 28 年度より増加させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳びの平均の記録を、平成 28 年度より 1 回増加させる。
(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 平成 29 年度～32 年度の学校生活アンケートにおける「授業中は、しっかり話を聞いている」、「授業中は自分の考えを進んで発表している」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を毎年 80%以上にする。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 29 年度～32 年度の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を毎年 90%以上にする。
(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

- 平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

- ① 平成 30 年度末の学校生活アンケートにおける以下の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)
 - ・「自分から進んで気持ちよくあいさつできている」
 - ・「困っている友だちがいれば、優しくすることができている」

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳びの平均の記録が、全国平均を上回るようにする。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)

学校園の年度目標

- ① 平成 30 年度末の学校生活アンケートにおける「授業はしっかり話を聞いている」「授業中は自分の考えを進んで発表している」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ② 平成 30 年度末の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりしている」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。
(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)

3. 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立中央小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した。 B: 目標どおり達成した。
C: 取り組んだが目標を達成できなかった。 D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった。

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○ 平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○ 平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p style="text-align: center;">(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○ 平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p style="text-align: center;">(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>① 平成 30 年度末の学校生活アンケートにおける以下の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分から進んで気持ちよくあいさつできている」 ・「困っている友だちがいれば、優しくすることができている」 	

年度目標の達成にむけた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育研修会を行い、全教員の道徳の授業力を向上させる。 ・道徳の年間授業時数 35 時間（1 年生は 34 時間）を確保すると共に、授業参観等で、「道徳」を取り上げて公開する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育研修会を年間 2 回、外部講師を招聘した授業研究会を年 7 回実施する。 ・道徳教育全体計画、各学年の年間指導計画、年間指導計画別葉を改善する。 ・道徳の年間授業時数 3 5 時間（1 年生は 3 4 時間）を確保し、授業参観等や土曜授業で、全学級で 1 回は「道徳」を取り上げて公開する。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに対する意識の向上を目指すあいさつ運動に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で毎週 1 回はあいさつ指導を行う。 ・あいさつ週間を毎月 1 回実施する。 ・毎週の児童朝会であいさつについての話を継続して行う。 ・毎月 1 回、地域でもあいさつができるよう指導を行う。 	
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値のある音楽を全校児童に鑑賞させ、児童の心情に直接訴えかけ、美しいものや気高いものに感動する心をもたせる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 1 回は外部から楽団を招き、全校で音楽鑑賞会を実施する。鑑賞後に感想を書き、交流することを通して道徳的な心情を高める。 	
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美しい学校にしよう」という意識を高める日や環境づくりを行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な清掃活動が行われるよう「そうじチェックカード」を毎日活用する。また、毎月「ごみ 0 マンデー」（第 3・5 週の月曜日）を設定し、全校一斉にこの日には清掃時間をいつもより 5 分間長く取り組む。その際、美化委員会で呼びかけやポスター掲示などを行う。 ・学校生活アンケートにおける「学校を美しくするために、そうじ当番の仕事を一生懸命している」の項目について、「よくあてはまる」と答える児童の割合が、前年度より上回るようにする。 	
<p>取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポート活動を各学級や児童会で取り組み、子どもどうしのつながりを深め、互いに思いやり支え合える集団育成に取り組む。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会（代表委員会・委員会・たてわり班活動）において、互いに思いやり支え合える学校を目指した活動やリーダー育成に全職員で毎週取り組む。 ・ピア・サポート活動を各学年において、年2回実施する。その際、スキップ掲示板にて、日時・内容を提示する。 ・学級の集団づくりに関する話し合いを学級会等で行うなど、児童主体の活動を毎週1回は行う。 	
<p>取組内容⑥【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進し、きまりを守って安全に過ごし、命を守る行動ができる子どもの育成に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で、毎週きまりを守るなどの安全指導を行う。 ・廊下の掲示物を1学期に1回ずつ新しいものにするなどの工夫をし、継続的に安全に過ごすよう呼びかける。 ・火災、地震・津波、不審者侵入の避難訓練を年3回、防災訓練を土曜授業を活用して年1回実施し、命を守る行動ができる態度や能力を身につけ、速やかに避難できるようにする。 ・1年に1回「防災週間」を実施し、安全教育を推奨する 	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
Empty space for analysis

<p>次年度への改善点</p>
Empty space for improvement points

大阪市立中央小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した。 B：目標どおり達成した。
C：取り組んだが目標を達成できなかった。 D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった。

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 （施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。 （施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。 （施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>○ 平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 （施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>○ 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳びの平均の記録が、全国平均を上回るようにする。 （施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成）</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>① 平成 30 年度末の学校生活アンケートにおける「授業はしっかり話を聞いている」「授業中は自分の考えを進んで発表している」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。 （施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）</p> <p>② 平成 30 年度末の学校生活アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりしている」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。 （施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成）</p>	

年度目標の達成にむけた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを深めたり広げたりするために、「ペア」「グループ」「全体」での話し合い活動を授業に取り入れる。 ・自分の考えを持って根拠とともに書いたり、発表したりすることができるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を活発にするための「コミュニケーションツール」を6こ以上活用する。 ・自分の考えを根拠とともにまとめて書く活動を授業のなかで多く設定し、継続して取り組む。 	
<p>取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを促し、学習意欲が高まるタブレットを活用した授業を実践する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用研修会を年間5回行い、各学級が月1回以上タブレットを活用した授業を実践する。 	
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘する授業研究会を実施すると共に OJT 授業も校内で公開して、授業力の向上に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年、必ず1本は外部講師を招聘する授業研究会を実施し、全教員が校内で公開授業を1回以上行う。 	
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教員との教科交流会を持ち、指導法・指導計画の情報交換を行う。また、一小一中の特色を生かし、交流参観等を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との教科交流を行い、参観等を3回以上実施する。 	
<p>取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童が英語に親しみ、積極的に関わろうとする態度を育てる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの学年内で、短時間学習を各学年1本ずつ公開し合う。 ・ペアの学年（中・高）内で、外国語活動（45分間）を各学年1本ずつ公開し合う。 	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上・運動の日常化を図るため、運動委員会によるラダー遊びやサーキット遊びの活動を行っていく。また、耐寒なわとびや耐寒かけ足などの全児童が参加する取り組みも行っていく。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回実施する体力テストの種目、反復横跳びにおいて1回目より2回目の平均記録が各学年上回るようにする。 	
<p>取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康への関心を高め、手洗い・うがいを習慣的に行えるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回（6月・11月・2月）に手洗い・うがい週間を設け、「振り返りカード」を配布し、全6項目において全て○と答えた児童の割合を、昨年度3学期の55%を上回るようにする。 ・毎月の「ほけんだより」、各学年学期に1回の保健指導で手洗い・うがいの重要性を児童に知らせて習慣的に行えるようにする。 ・学期に1回、健康委員会が手洗い・うがいについての活動をする。 	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
Empty space for content

<p>次年度への改善点</p>
Empty space for content

